

## 天皇誕生日に際しての田中大使の祝賀メッセージ

昭和35年2月23日は今上天皇のお誕生日であり、今年で61歳となります。全世界的な新型コロナウイルス感染拡大で厳しい状況ではありますが、今年も天皇誕生日を迎えられますことを心よりお祝い申し上げます。

本来であれば、ハラシにおいても祝賀レセプションを開催し天皇誕生日をお祝いする機会とさせて頂きかけたのですが、現下の新型コロナウイルス感染症の状況により、残念ながら今年はその開催を見送る決定をいたしました。新型コロナウイルスの感染拡大はジンバブエだけでなく、日本を含む全世界の人々にとっての共通の問題です。我々は共に協力し合いながら、この苦境を乗り越えていきたいと考えます。

また、毎年開催している天皇誕生日祝賀レセプションはジンバブエの皆様とも友好関係を深める機会でもあります。この機会に改めて最近の日・ジンバブエの友好関係について振り返ってみたいと思います。ジンバブエは農業・鉱業資源に恵まれ、大きなポテンシャルを有する国です。この点で、日本は引き続きジンバブエの発展のために協力していくことが重要と考えています。例えば最近では、国際機関を通じた緊急食料支援など、ジンバブエの脆弱な人々に対する各種支援を決定しました。また保健分野における医療機材支援やインフラ整備のための南北回廊北部道路改修事業等、様々な分野での支援を実施しています。日本は今後もジンバブエの発展に資する支援を継続的に進めて参ります。

我々は一昨年、日ジンバブエ友好協会を設立し、親日家の皆さまと交流を深めています。ジャバングウェ会長をはじめ会員の皆様は熱心に日本との関係を進めようと努力しております。その上で、ジンバブエの皆様は、もっと日本の情報がほしいとおっしゃっています。この点で私もさらに努力をしていきたいと思います。特に2021年夏には東京オリンピック・パラリンピックが開催予定であり、ジンバブエの皆様が日本への関心を大いに高めて頂ける絶好の機会にしたいと考えています。

さらに2022年にはチュニジアにおいて経済・ビジネスの関係強化を目指す TICAD 8も予定されています。我々はこれを日・ジンバブエの経済関係及び開発協力を促進させる機会にしたいと考えております。ジンバブエには多くの日本車が走っており、ジンバブエの皆様の日本製品に対する期待も高いと思います。これらの期待が両国の経済関係の発展に具体的に結実していくことが重要と考えます。

最後に、環境問題に携わっていた者の一人として、これまでの経験を活かし、ジンバブ

工が抱える環境問題に関して、情報交換や知見の交換を促進していくことにも取り組んでいきたいと思います。

いずれにしましても、まずは一日も早く新型コロナウイルス感染症が収束し、元の生活が取り戻されることが肝要です。その上で、ジンバブエと日本の友好関係がより一層深化することを期待しつつ、挨拶と代えさせていただきます。

令和3年2月23日  
在ジンバブエ日本大使  
田中 聡志